

高知県少年野球春季選手権 大会規定

1. 参加資格

- (1) 県内の小学5年生以下で構成されたチーム及び合同チーム（3月現在学年）。
- (2) 1チームの構成は責任者1名、監督1名、コーチ3名（マネージャー含む）、選手20名（主将含む）以内とする。
- (3) 合同チームはユニフォーム帽子スパイク等はそれぞれのチームで可。

2. 規則

- (1) 公認野球規則及び大会特別規則に準ずる。
- (2) 1日1チーム1試合とするが、参加チーム数によってダブル・ヘッダーを行うこともある。この場合、野球規則とは別に全軟連の通達により1人の投手の投球数を選手の健康面を考慮し、原則70球までとする。（70球に達した時点の打者の打撃が完了するまで投球できるものとする。）
- (3) 本大会は申告敬遠を採用する。
- (4) 試合は7イニング制とし、試合時間は1時間30分を超えて新しいイニングに入らない（決勝戦は適用しない）。ただし、時間制の場合、その時間がきても、表の攻撃中であれば、その裏の攻撃を認める。それでも勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名により抽選にて勝敗を決める。抽選方法は〇×方式にて行う（選手がくじを引き、監督が回収して、主審・塁審・監督の立ち会いのもとで確認する）。くじは先攻チームから引く。ただし、上記時間内で勝敗が決しない場合は、引き続き特別延長戦を1イニング行う。同点の場合はその時点で出場選手（9名）により抽選で決める。【特別延長戦は継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者として、無死1・2塁で行う。】
- (5) 決勝戦に限り、7回終了時に、勝敗が決しない場合は、引き続き特別延長を行い（最長10回まで）それでも勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名により抽選にて勝敗を決める。
- (6) 5回以降7点差のあるときはコールドゲームを採用する（決勝戦は採用しない）。
- (7) 日没、降雨等その他やむえない事情により試合が続行できなくなった場合は、5回を終了したものはコールドゲームとし、終了しないものは特別継続試合とする（ノーゲームにはしない）。なお、5回終了時同点の場合は抽選とする。
- (8) 各チームは試合定刻30分前にラインアップ（メンバー表）を本球場4部、その他は3部（主審・相手チーム・総務）提出すること。第2試合以降は3回終了後提出する。（試合の進行によっては一時間経過後に提出できるものとする）
- (9) シートノックは後攻めチームより5分間とする。
- (10) 審判員に対する申し出はルール上の疑義の他は認めない。申し出は監督と当事者が申し出る。
- (11) 守備側のタイム（捕手を含む野手がマウンドに集まる回数〔監督等が選手をベンチ前等に呼び指示を与える場合も含む〕）については7回戦で3回、延長戦は2回に1回とする。
- (12) 準備投球は初回が7球以内、2回以降は3球以内（いずれも1分以内）とする。
- (13) 打者、走者、ベースコーチは公認の耳付きヘルメットを着用すること。
- (14) 捕手は公認のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメット・カップを着用すること。
- (15) 服装は同一ユニフォームで必ず背番号をつけること。（但し合同チームはその限りでない。）
- (16) 臨時代走は、従来どおり前位の打者とする。（但し投手は除いてもよい。）
- (17) 金具のスパイクは禁止とする。
- (18) ベンチには登録者で、監督1名・コーチ2名（ユニフォーム着用）、マネージャ1名、責任者1名（運動のできる服装）のみ入ることができる。ただし、グラウンド内はユニフォーム着用者のみとする。他の入席は一切禁ずる。
再三の注意にもかかわらず、これに従わないチームは棄権とする。

(19) 開会式に参加しないチームは試合に出場させない。

(開会式を実施しない場合はその限りではない。)

(20) 天候等により試合開始時間が前後する場合があります。

3. 医療

主催者は大会中の負傷または疾病に対して応急処置は行いますが、その後の責任は一切負いませんので、各チームでスポーツ安全保険等に参加してください。

4. 組み合わせ

実行委員会にて厳選な抽選を行います。

5. 申し込み

(1) 所定の用紙にて期日までに大会事務局へ申し込むこと。

(2) 申込書に登録されていない選手は出場できない。やむをえないときは、選手変更・追加登録用紙へ記入し、大会4日前(3月22日午後5時必着)までに郵送・FAX・メールで本部へ提出し、審議のうえ決定する。(TELでは受け付けない)

(3) 背番号の変更は各会場で受け付ける。

(4) 監督と責任者は開催中の選手・応援団のすべての行動について責任を負うものとする。

応援は少年野球の精神にそむかないよう故意に相手に妨害を与えたり、大会運行のさまたげとなるような行動があってはならない。お互いに相手を尊重し、品位と秩序ある応援を行うこと。応援の行動について本部または審判員より指示することがある。

6. 表彰

(1) 優勝チームに優勝旗・優勝トロフィー・優勝カップ・メダル・賞状・賞品を授与する。

(2) 準優勝チームに準優勝旗・準優勝楯・メダル・賞状・賞品を授与する。

(3) 第3位チームにメダル・賞状・賞品を授与する。

(4) 参加者全員に参加賞を授与する。

7. その他

(1) 練習会場を使用後は必ず整備をしてください。

(2) 試合前のキャッチボール・ノックは、大会2日目以降の試合についてシートノックまでの間、時間に余裕がある場合、他のチームの迷惑にならない範囲でこれを認める。

(マリン球場での開会式前の練習は禁止とする。練習会場・サブの使用可能)

(3) ベンチに入るものはサングラス・リストバンド・ネックレス・ミサンガ等の使用を禁止する。ただし、ネックレス等はアンダーシャツから出ないようにすれば使用を認める。

(ケガ等の影響により審判員が認める場合は使用可能とする)

(4) メガホンは1チームにつき1個。監督のみ使用を認める。

(5) 大会開催中の写真・記事・記録等が新聞・雑誌・インターネット等に使用されることがあります。使用・掲載にあたっては掲載権、肖像権を主催者に一任してください。

(6) 優勝チームは、全日本学童軟式大会の高知県予選に室戸大会優勝枠で参加が可能。

8. 審判員

(1) 大会中、各チームは2名の指導員者審判員を出すこと。服装・用具は、高知県小学生野球連盟に準ずる。割り当ては、原則として、一塁側のチームより球審と二塁塁審、三塁側より一・三塁塁審とする。準々決勝戦より大会本部審判員で行う。